

地域おこし協力隊活動報告

Vol.1

令和3年7月から名寄市地域おこし協力隊として着任した
森和季もりかずきさんに協力隊としての活動を報告していただきました。



初めまして、地域おこし協力隊の森和季です。協力隊として着任してから早3カ月、サバイバルゲームの運営や観光農園の受け入れ、「ひまわりまつり」の運営など、さまざまな活動を行っております。今回は私の人となりを知っていただくため、簡単な自己紹介をさせていただきます。

神奈川県で生まれ、高校卒業まで旭川市で育ち、大学、社会生活を東京で過ごしました。大学在学中から、いずれは北海道に戻って働きたいという思いがあり、今回素晴らしい縁があって名寄市に参りました。街中などで見かけ

た際は、お声がけいただけたら嬉しいです。

名寄市に住むのは初めてですが、過ごしやすさに日々感動しています。都市部としての機能が中心地に集約され、少し足を伸ばせば豊かな自然が広がっています。このコロナ禍でも感染防止対策の下、アウトドアで楽しめる空間が多く、名寄市の観光の可能性が広がっていると感じています。

名寄市にある財産を再発見、再発掘し、その魅力を全国へ発信していく。それが、私が名寄市に来た理由です。

さて、10月9日(土)、10日(日)にはピヤリススキー場にてサバイバルゲームイベントが開催されます。なよろ観光まちづくり協会のホームページから応募可能なので、ぜひご参加ください！



▲こちらのコードから応募できます

問い合わせ 産業振興課 (名寄庁舎3階)

☎01654③2111 (内線3349、3350)

NPO法人なよろ観光まちづくり協会 (東1南7)

☎01654⑨6711

毎年10月は食品ロス削減月間です！

「食品ロスの削減の推進に関する法律」が令和元年5月31日に公布され、10月を「食品ロス削減月間」とし、さらに10月30日を「食品ロス削減の日」としています。

日ごろから食べ物を無駄にしないよう、家庭や職場など一人ひとりの心がけで食品ロスを少しでも削減しましょう！



第3次名寄市食育推進計画でも推進目標の1つに掲げています！

目標7 「地産地消を推進するとともに食に関する感謝の念と理解を深めよう！」

生産者をはじめとした多くの関係者により「食」は支えられています。食料の生産から消費にいたる食の循環を意識し、食に対する感謝の念を深めていく事が大切です。

そして、近年では食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」も問題となっています。

食品ロスを減らすことは、廃棄物の削減だけでなく、さまざまな環境負荷の低減も期待できることから、食べ物

を捨てることに対し「もったいない」という気持ちを持つことも大切です。

<第3次名寄市食育推進計画より抜粋>



問い合わせ

名寄市食育推進協議会

事務局/名寄市経済部農業経営担当

☎01655③2511 (内線2319)